

幕張支部大会開幕



日刊 動労千葉

84. 10. 25

No. 1775

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五三五(六)公衆〇四七二(22)七二〇七

全十一支部の先頭をきつて、幕張支部は、十月二十二日、第七回支部定期大会を開催し、一九八四年度の闘う方針を確立した。

心の通いあった団結の基礎 総行動に全員が確信

十三時には、会場の職員集会所は、公休を返上して出席した代議員の熱気で早くも暑いぐらいである。

加藤岡組織部長の開会宣言、一年間の激闘を勝利的にとらえ、今後とも一層の団結強化を訴える。

議長には、乗務員分科から本沢さんが選出され、テキパキと議事が進められてゆく。来賓には、小川千葉市議、鈴木千葉地区労副議長、そして本部から布施書記長、林・磯辺・中村各特執が参加され、あいさつ、答弁をいただいた。

「経過と総括」は、秋葉・真藤両副支部長から提起された。「行動の記録」は、全部を掲載したら、それこそ十数ページにもなるだろう。これほど行動と学習、諸会議を精力的にやってきたということであり、この総行動・総団結が厳しい情勢のなかにあつても心の通いあつた団結と職場を守る基礎となっている。このことをあらためて確認できた。

活発な討論で方針を決定

質疑応答は「10・10」総括をはじめ、活発に行われた。

- ① 「10・10」の大成に確信をもつ。そのうえで、支部としてもつと突込んだオルグをした方がよいのではないか。
- ② マル生粉碎の教訓等の学習会をやつて欲しい。
- ③ 「60・3合理化」についての分析。構内誘導の固定職化を。
- ④ 「60・3」で構内見直しがあるのか。

「模擬店」と「写真コンテスト・展示会」も

★ おなじみ、幕張の「フランクフルト・ソーセージ」、津田沼の「やきそば・おでん」屋さん、それに加えて今年はモチつきの実演と「つきたてのおモチ」屋さん(成田)、カナメ商事が腕によりかけての産直販売店(信州長野直送「リンゴ」、静岡の「お茶」、木更津の「のり」)などなど... 楽しいお店が並びます。

★ また、この団結祭典をテーマとした「写真コンテスト・写真展」(11月20日応募メ切。23日~29日展示会)も企画されています。組合員・家族を問わず、ふるって応募して下さい。賞品多数あり。

★ これまたおなじみの三里塚から贈呈された立派なやさいがどっさり景品で待っています。御家族そろって来て下さい。

支部通信員・発

幕張支部は、大会の成功をバネに、嵐の時代を突きる強固な職場II支部体制を築くため、がんばる。

⑤ 退職補充の早期実施を。
⑥ 台検廃止等の攻撃は、国鉄労働者にやる気を見失わせるものだ。どう反撃するか。
質問に対し、布施本部書記長、白井支部長、滝口書記長が答弁。積極的姿勢を重んじ、建設的相互批判をバネに闘う陣形をつくりあげるため奮闘してゆくこと等が決意された。
つづいて「11・3団結祭典運動会」の大成功にむけて篠塚執行委員が特別提起を行い、さらに、「11・10国鉄労働者集会」をもって反撃にうつる決意を全体のものとした。
最後に、木村執行委員の「閉会のことば」、白井支部長の音頭で団結ガンバローを三唱し終了した。

みんな成功させよう
結成5周年
(第6回)団結祭典
大運動会

11月3日(祭) 9時
雨天の場合は、11月4日(日)
千葉鉄道学園グラウンド